

令和 7 年度事業報告

令和 7 年度は、制度改革（フリーランス法、公益法人制度改革、新契約方式）や最低賃金の上昇など、シルバー人材センターを取り巻く環境が大きく変化した一年であった。新城市シルバー人材センター（以下「当センター」という。）では、令和 6 年度から取り組んできた「包括契約」の実施および完全請負制度への移行に向け、草刈り作業の平米単価や剪定の一本単価を基準とした見積り算定方式への移行を進めてきた。その対応として、発注者への書面による変更案内の送付、さらに会員を対象とした「新しい草刈り平米単価説明会」を 7 回実施し、剪定班会員を対象に「完全請負制度に向けた説明会」を 1 回実施し、令和 8 年 4 月からの本格的な移行に支障が生じないよう準備を進めた。今後も関係者の一層の理解と支援を得られるよう、来年度も継続して取り組んでいく。

また、会員への電磁的方法による条件明示を行うことから、昨年度に引き続き、総務省デジタル活用支援推進事業（講師派遣型）によるスマートフォン講習会を実施し、会員の理解と協力を深めながら、業務の効率化や紙による会員業務委託料明細の郵送廃止による経費削減に努めた。

令和 7 年度末の当センターの会員数は 599 人で、昨年度から 15 人減少した。事業実績として、請負契約金額は会員業務委託料標準単価の引上げがあったものの、昨年度比で約 732 万円の減少となった。一方、派遣事業の契約金額は昨年度比で約 551 万円の増加にとどまった。

新規入会促進のためシルバーポイント制度を活用するとともに、女性向けの各種講習会・教室・イベントを開催し、女性会員の確保に取り組んだ結果、女性会員は 5 名増加した。しかし、事業実績の表が示すとおり、「第 4 期中期計画」の設定目標とは大きな乖離が生じている。このため、令和 7 年度には現状の検証・分析を進め、計画の中間見直しを行い、厳しい現状を踏まえつつ、安定的かつ持続可能な事業運営に向け、一層の努力を重ねていく必要がある。

【事業実績】

年度	年度末 会員数(人)	4 月から 3 月末までの入退会		契約実績（単位：千円）		
		入 会(人)	退 会(人)	請 負	派 遣	計※
7	599	72	87	182,498	117,165	299,663
6	614	77	78	189,819	111,649	301,468
5	615	66	81	191,356	111,192	302,549
4	630	102	77	179,498	112,778	292,277
3	605	59	88	180,230	93,350	273,580

(※ 契約金額は数値を千円単位で切捨処理しています。合計に差異が生じています。)

中期計画の目標値と実績の比較

7 年度	会員数(人)	うち 男性	うち 女性	配分金(千円)	賃金(千円)
目 標	626	416	210	153,030	94,000
実 績	599	390	209	156,635	90,824

【事業実施】

1 就業機会の確保と組織的提供事業及び会員数の増加（請負、委任）

- ・新たな就労先を開拓するため、公共職業安定所や商工会、行政機関などとの連携を密にして情報収集を図った。
- ・会員への迅速で均等な就業機会を提供するため、会員への携帯電話ショートメッセージ送信サービス（SMS）やスマートフォン会員個人マイページ（以下「Smile to Smile」という。）の活用を推進し、業務の効率化、郵送料の削減、省力化を図った。
- ・就業機会の拡充に伴い不足する会員の確保を図るため、ポイント制度による「新規会員募集・女性会員募集」を行った。
- ・市からの委託事業として、会員の就業によらない高齢者の能力を生かした活力ある地域貢献活動「介護支援ボランティア制度」・「訪問介護支援事業」の充実拡大を図るとともに、ゴールド会員制度による会員の高齢化による退会を抑制に努めた。

2 指定管理事業

- ・令和7年度から令和11年度までの5カ年間、いきいきライフの館、鳳来高齢者生きがいセンターの指定管理者に当センターが指定された。会員の就業作業施設とし、さらに一般利用者に「使い勝手の良い」、「利用しやすい」施設管理を目指した。
- ・指定管理している施設の経年劣化に伴う老朽化対策を、市役所と協議、調整を図り施設修繕を行った。

3 有料職業紹介事業（雇用）

- ・人手不足になっている市内事業者と会員向けに、有料職業紹介事業への取り組みをPRした。
- ・地域の実情に応じた高齢者の多様な就業機会を確保するために公共職業安定所や商工会、行政機関などと連絡を図った。

4 労働者派遣事業（派遣）

- ・公共職業安定所や商工会、行政機関などと連携して人手不足となっている事業所の求人情報を収集し、適切なシルバー派遣会員の就業機会を確保した。
- ・シルバー派遣事業を推進するため、担当職員の養成、確保を図った。
- ・派遣事業の拡大に伴い、シルバー会員が就労を通して多くの方と接触する機会が増えたこともあり、個人情報保護の意識を高めるための派遣説明会を実施した。
- ・公益社団法人愛知県シルバー人材センター連合会による派遣事務の集中化の効果を確実なものにし、さらに当センターの派遣労働会員給与明細等のSmile to Smileによる利便性向上につながるよう推進した。

5 知識及び技能の付与を目的とした講習会等の実施事業

- ・安全対策の一環としての草刈機等、機械や器具の正しい使用方法を学ぶ講習会を、会員向けを6回、職員のため講習会を他市町村の職員と共に開催した。
- ・「介護支援」、「清掃」など社会生活にも密着した講習会や、しめ縄作り、剪定、など幅広い分野の講習会、教室を計画し、独自事業への参加会員の増加を図った。
- ・昨年度に引き続き、国の「デジタル活用支援推進事業（講師派遣型）」を事業者に依頼し、市役所と連携のもと、スマートフォン講習会を本所、鳳来・作手地区で実施した。

また、e-スポーツなどのイベントを実施し、デジタルで楽しむイベントも行った。一般の高齢者を含め会員のICT活用を推進し、シルバー人材センターの業務の効率化に努めた。

- ・剪定班会員の技術向上や就業意識の高揚を図った。

6 調査研究事業

・フリーランス法に対応するため、草刈においては、会員が見積を容易にできるよう、時間単価から草刈り作業面積へ、また、剪定における一本単価を設定するなどの見直しを継続的に実施し、単価基準表を作成した。

・年間を通して開催する各種講習会、教室の受講者からのアンケート内容を、今後のシルバー事業運営に反映させた。

・発注者に対する「就業後の調査」でのご意見を、シルバー会員への指導、事務局の対応の改善に生かせるよう努めた。

・専門部会・職員による視察などを行い、先進地センターとの交流による事業活性化を図り、事務の効率化につなげる取り組みを行った。

7 相談事業

・シルバー人材センター入会希望者への個別説明を他の事業との同時開催や、説明会後の個人面談で就業希望、要望を聞き取り、きめ細やかな入会後の就業相談を実施した。

・市民及び企業からの受注依頼などの問い合わせに、シルバー会員（高齢者）に安全及び適正就業の面からふさわしい就業かどうかを判断し、受注を断念した場合は民間事業者を紹介するなど対応した。

・新たな行政サービス、行政需要（生活弱者への支援、農業支援、ふるさと納税、空き家対策、生涯現役促進事業・ボランティアポイント制度など）の受け皿として相談にあたった。

・ICT活用としてのスマートフォンの相談が、気軽にできる機会、スマホサポーターによる相談の機会を、毎週火・水曜日に実施した。

8 安全・適正就業推進事業

・令和6年度事故発生件数が前年度からほぼ倍増していたことから、シルバー人材センターの安全・適正就業対策基本計画による令和7年度事業計画実施事項を確実に進めたが、すべての安全目標を達成するには至らなかった。

・草刈安全講習会や会員の健康に関する講座等の開催により安全・適正就業の推進を図った。

・安全委員会を定期的に開催するとともに、安全委員会による安全適正パトロール巡回指導により細やかな安全対策活動の推進に努めた。

・民間保険会社との連携を深め、就業事故の原因分析と対策を、機関紙への掲載や定時総会、各種会議の場を活用しシルバー会員に周知し、再発防止に努めた。

・公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会や公益社団法人愛知県シルバー人材センター連合会が開催する安全事故防止キャンペーン事業や研修会等に積極参加し、安全就業に努めた。

9 センターの活動等について周知を図る事業

・地域の情報誌やケーブルテレビの取材協力のため、当センターの活動内容、状況を「ブ

レスリリース」として随時行った。

- ・ホームページやインスタグラムを活用して、シルバー人材センターの活動内容や会員の入会促進に向けた情報発信を行った。

- ・市役所広報紙「ほのか」への掲載及びシルバー機関紙「頑張らまいかん」・募集チラシを定期的に市内新聞折込を実施し、入会案内を行った。

- ・シルバー感謝ウィークを設定し、就業現場見学や独自事業の展示・販売の開催、「ボランティア活動」や県連合会が主催するイベントに参加し、普及啓発を行った。

- ・女性委員会が、シルバー人材センターに興味を持っていただけるような環境づくりのために女性に特化した教室等を実施し、会員確保のため広く市民に周知を行った。

- ・広報部会を定期的に開催し、情報発信方法などを随時検討した。

10 その他 センターの目的を達成するために必要な事業

- ・高齢者がボランティア活動を通じて、社会参加、地域貢献を行いながら、自らの健康増進に積極的に取り組み、生き生きとした地域社会をつくる目的としての、市から委託事業 介護支援ボランティア事業「しんしろ支え愛ボランティアポイント事業」を実施した。

11 シルバー人材センターの財政基盤の安定を図る

- ・国の政策、方針に沿った事業展開による国庫補助金の確保に努めた。

- ・最低賃金の大幅な上昇や、諸経費の高騰などの社会環境の変動に対応し、請負・委任に係る配分金及び会員業務委託料や材料代の見直し、年会費などの自主財源を確保することでの財政基盤の安定を図り、市へ補助金の現状維持を図った。

12 公益社団法人の適正な運営

- ・公益社団法人としての適正な事業運営を行うとともに、役員の職務執行・責任の対価としての報酬による体制の充実整備を行った。

- ・シルバー人材センターの設立目的に沿った公益事業の推進を図った。

- ・会員、役員と事務局が一体となった活力のある事業運営に努めた。

- ・個人情報保護や法令順守（コンプライアンス）等の研修や職員勉強会を計画的に実施した。

- ・会員のシルバー人材センターの事業・行事参加の積極的取り組みに対する「シルバーポイント制度」を随時改善し、会員の自主性の醸成を支援した。